

広報あつぎ

防災行政無線の **11月1日~**
音声が変わります
より聞き取りやすい機
械による放送になります。
園危機管理課 ☎225-2190

編集・発行 / 厚木市政策部広報戦略課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951
ホームページは



ここって厚木?

見つけよう

まちの魅力



風月亭

中国揚州市の観光地「瘦西湖」にある風亭を模して建てられたあずまや。厚木市との友好都市締結を記念して、昭和60年に揚州市からの建設団によって建設された。
園広域政策課 ☎225-2050



地元の声

紅葉の時期が魅力的



原田 祐さん (32・森の里) 竜助君 (4)

散歩で子どもと一緒によく訪れます。中国建築が若宮公園の自然とマッチしているところが気に入っています。特に、周囲の木々が紅葉するころは風情ある光景となり、とてもお勧めですよ。

木々の緑や草花があふれる散歩道を進むと、異国に迷い込んだかのような風景が広がります。優しい光の中に浮かび上がる建物は、森の里の若宮公園にある「風月亭」。友好都市の中国揚州市から贈られたあずまやで、知る人ぞ知る厚木の穴場スポットです。
今号では、こうした隠れたスポットから厚木を代表する名物まで、まちにあふれる魅力を集める人、守りつなぐ人、生み出す人を市民リポーターと共に取材したほか、たくさんの方の皆さんに厚木の魅力についてインタビューしました。
市内には、私たちが知らない魅力がまだまだいっぱいあります。それぞれが知る「とっておいきの厚木」を発信し、みんなで共有してまちを盛り上げていきましょう(6面参照)。

目次	2~7面 特集 厚木再発見 まちの魅力づくりに携わる人々の思いを紹介するほか、たくさんの方に厚木の魅力について聞きました。	8面 ふるさと納税をリニューアル 財源確保を強化するため、「ふるさと納税」をリニューアル。厚木の魅力ある返礼品を全国に発信します。	9面 厚木の新たな魅力を創造 5月に設置された地方創生推進プロジェクトが取り組む、まちに新たな魅力を生み出す活動を紹介。	10・11面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
----	--	--	---	---

こちらから



自然と歴史を学び広める

あつぎ観光ボランティアガイド協会

市内には、心身に癒やしの効果がある森林セラピー[®]基地やハイキングコース、美肌効果のある温泉、かつての記憶を伝える文化財など、人々を引き付ける観光資源がたくさんあります。ここでは、そうした厚木の魅力を伝えている「あつぎ観光ボランティアガイド協会」の活動に迫ります。



蘭学者として有名な渡辺華山の来遊を記した記念碑の前で、歴史探訪ガイドの参加者に当時の厚木の様子を説明



史跡巡りや自然観察など、定期的に研修会を開催

探究心がきっかけに

信仰のために開かれ、豊かな緑に囲まれた飯山白山順礼峠や、室町時代に隆盛を誇った七沢城の跡など、厚木には名所や観光スポットが数多くあります。協会では、史跡の見どころや由来、自然に身を置く効能などを市民の皆さんや観光客に分かりやすく解説しています。

「江戸時代、厚木は小江戸と呼ばれ、宿場町として栄えていました。渡船場として交通面で重要な役割も果たしていたんですよ」。近世の重要な街道であった大田道や神社仏閣などの歴史遺産を訪ねる、「歴史探訪ガイ

歩き続けて培った知識

信仰のために開かれ、豊かな緑に囲まれた飯山白山順礼峠や、室町時代に隆盛を誇った七沢城の跡など、厚木には名所や観光スポットが数多くあります。協会では、史跡の見どころや由来、自然に身を置く効能などを市民の皆さんや観光客に分かりやすく解説しています。

会員たちは皆、一つでも新しい発見があればと、地元の人に話を聞いたり、史料を読みあさったりしました。「出掛ける際にも電車やバスは使わず、至るところを歩き回った。その好奇心が会員のスキルアップにつながったのだと思う」と会長の

山田泰夫さん（77・毛利台）は話します。参加者をしっかりと案内できるまでに、およそ3年がかかりました。当時積み重ねた努力は、現在活動をする上で欠かせない財産となり、ガイドの基本姿勢として受け継がれています。

山田泰夫さん（77・毛利台）は話します。参加者をしっかりと案内できるまでに、およそ3年がかかりました。当時積み重ねた努力は、現在活動をする上で欠かせない財産となり、ガイドの基本姿勢として受け継がれています。

厚木ファンを増やしたい

「厚木のことをもっと知りたい」という声は、市内外から度々協会に寄せられています。そうした期待に応えるため、現在自然を楽しむハイキングと神社仏閣や史跡などの歴史探訪を組み合わせた、新たな散策ツアーを計画。実現できれば、他の観光地に負けない観光資源を生み出せると意気込みます。また、小中学生などに自分の住んでいる地元を誇りに思ってもらおうと、地域の歴史を学ぶ勉強会の



鮎まつりやグルメフェスタなどの行事支援でも活躍

観光ボランティアガイドと巡る

厚木の奥入瀬・谷太郎川溪谷の紅葉ハイキング

《日時》11月24日、9時30分～14時30分（雨天中止）

《集合場所》「煤ヶ谷」バス停（清川村）

《内容》紅葉と溪流のせせらぎを楽しみながら約7キロを歩く

《定員》50人

《参加費》500円（資料代・保険料）弁当、飲み物をお持ちください。

11月15日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。 ☎162408 ©1



市民リポーターも魅力発見

史跡が語る地域の歴史

中俣里美さん（35・栄町）



七沢といえば温泉と自然。そんな印象が、協会の皆さんに七沢神社や七沢城の跡などを案内してもらって覆されました。丁寧な解説を聞き、古く貴重な史跡に触れると、改めて歴史ある地域であることを再発見。これからの季節、紅葉を楽しみながら、気になる史跡を協会の皆さんに紹介してもらおうのもお勧めですよ。

開催も検討しています。山田会長は「私たちがそうであつたように、厚木をもっと知りたいという人たちの心に火をつけて、厚木ファンを増やしていきたい」と熱を込めます。自分たちの足で見つけたまちの魅力。協会はこれからもファンの輪を広げるため、新たな発見を追い求めていきます。



名産を日々の食卓に

あつぎとん漬のれん会

厚木シロコロ・ホルモンや鮎の塩焼きなど、厚木が誇るグルメの中で名産として古くから親しまれてきた「とん漬」。より多くの人に食べてもらうために、市内の精肉店などで構成される「あつぎとん漬のれん会」では、とん漬の新たな魅力づくりに取り組んでいます。



家庭で簡単においしく調理できるとん漬。アレンジメニューの厚木バーガーも絶品（左上）



市内外のイベントでもとん漬をPR

江戸時代の末期、荻野山中藩（現在の中荻野）にあったあるお屋敷のうたげで料理が不足し、イノシシの肉にみそを付けて焼いたのがとん漬の始まりと言われています。以来、多くの人に親しまれ、豚肉に変わった今でも、厚木の魅力ある食の代表として、市では食ブランドの「あつぎO.E.C.Food」に認定し広くPRしています。

とん漬を厚木の特産品に

とん漬をさらに普及させようと、のれん会が発足したのは今から6年前のこと。きっかけは、ご当地グルメでまちおこしをする食の祭典、「B-1グランプリ」の開催でした。全国各地のご当地グルメが脚光を浴びる中、精肉店の店主らは「厚木の



二つのコンテストには計約40点の応募があり、審査にも熱が入った（左が田口さん）

贈答用から日々の食卓へ

「とん漬のことを知っていて、まちを盛り上げたい」という思いを強く抱いてきました。使用するみそや漬け込み時間によって、とん漬の仕上がりは三者三様。その定義も曖昧です。そのため、「うちの味が元祖だ」といった、個々の店のこだわりもありました。それらを「厚木のとん漬」として一くくりで考え、特産品として全国に広めようと、思いを一つにする事業者が集まり、PR活動に取り組むようになりました。

手軽に作れるレシピを

さらに、とん漬を家庭の食卓に浸透させようと今年、市内でとん漬料理のレシピコンテストが2日間開催されました。厚木商工会議所と厚木市商店会連合会がのれん会と連携し、それぞれが企画。市民や学生から「家庭で日常的に作れ、全国にとん漬をPRできるレシピ」を募りました。両コンテストの審査に当たった田口さんは「どの料理材料で作れるのがポイント。とん漬らしさも感じられる仕上がりと手応えを感じました。現在、大学生が考案した最優秀作品の「トン漬どり辛DON」をベースにしたメニューを、レストラン「けやき（厚木商工会議所1階）」で提供しているほか、今後は募ったレシピを冊子にまとめることを検討しています。田口さんは「コンテストを開催したことに満足してはいけません。取り組みを発信し続けることが重要」と熱を込めます。長年愛され続けてきたとん漬の歴史に比べれば、のれん会の活動は始まったばかり。全国の食卓にそのおいしさを届ける挑戦に、今後も目が離せません。

とん漬アイデア料理コンテスト

市商店会連合会主催

金賞受賞

とん漬ビビンバ

市民考案の最優秀作品を紹介

材料

とん漬、モヤシ、ニンジン、ホウレンソウまたはキュウリの皮、卵、ごま油、ニンニク、砂糖、塩、しょうゆ



作り方

- ①モヤシ、ニンジン、ホウレンソウまたはキュウリの皮をそれぞれ5割に切り、ゆでる。ゆで上がったものを砂糖、塩、しょうゆ、ごま油、おろしニンニク、すりごまであえる。
- ②焼いたとん漬を食べやすい細さに切る。
- ③ご飯の上に①、②、卵（お好みでゆで卵や生卵、温泉卵）を乗せる。



レシピ考案者 佐藤洋子さん

とん漬は味付けがされていて、焼くだけで手間なく調理できます。真空パックで小分けでも売られているので普段使いにももってこいです。

市民リポーターも魅力発見

わが家の新たな献立に

千田英代さん（50・妻田東）



厚木のとん漬が有名なのは知っていましたが、贈り物というイメージでした。取材する中で、その味に秘められたこだわりや普及への取り組みを知ることができました。さまざまな調理法があることも学べたので、私も家庭で新しいメニューとして取り入れてみて、周りにも教えてあげたいと思います。



里山の恵みを次世代へ

あつぎこどもの森クラブ

市内には、豊かな自然や貴重な動植物、郷土に伝わる文化・芸能など、古くから受け継がれてきた魅力がたくさんあります。あつぎこどもの森公園では、里山の恵みを後世に伝えていこうと、「あつぎこどもの森クラブ」の皆さんが園内の自然の保全と活用に取り組んでいます。



毎回新たな発見がある自然観察会。五感を研ぎ澄ませて里山の四季を感じている



根気がある外来種駆除や草刈り

さらに、通常の来園者も四季の移り変わりをより深く楽しめるよう、空中回廊から見える自然を説明する

「里山を保全するということは、そのままにしておくという

「クモの巣には粘り気があるところとないところがあるんだよ」「触ってみたい」。あつぎこどもの森公園で、月に一度の自然観察会が開かれています。参加者を誘導するのは、あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトチームの皆さんです。リーダーである県自然保護協会副理事長の青砥航次さん（73・林）をはじめ、メンバーの一部は、公園のオープンに向けて、平成25年から園の整備に携わってきました。

里山を生かした公園へ

公園が整備された山は、かつて地元の人々がまきや炭を調達したり、稲作を営んだりするために使われてきた里山です。燃料が石油などに変わり、農林業の後継者が減るとともに人の手が入らなくなりました。公園として生まれ変わることにより、

自然の良さに気付いてほしい

自然プロジェクトチームでは、「来園者が遊具で遊んで帰るだけではもったいない。ここで触れられる貴重な自然の素晴らしさにも気付いてほしい」と、オープン以来継続的に、生態系の調査や草刈り、学習会などを行っています。自然観察会の前には毎回必ず下見を実施。その時期の見どころを調査し、手作りのパンフレットにまとめています。こうした苦労をいとわず開催される観察会は、参加者から「知らない生き物をたくさん教えてもらえた」「知識が付いたので、知り合いを連れてまた来たたい」といった声が寄せられるなど、好評です。

多様な生き物と共に

地道な活動が功を奏し、オープンから半年たった今、園内にはたくさんの希少な生物や植物が自生しています。ため池にはホトケドジョウ、田んぼにはミズオオバコなど、絶滅危惧種に指定されている生物も戻り、メンバーは「自然がタイムカプセルのように残っている証」と喜びます。トンボは、公園整備当初からは約3倍の50種類もが確認されるようになりました。

一方で、外来種の繁殖や鳥獣被害への対策が課題となっています。園内で育てた農作物がサルやシカに食べられてしまうなどの被害もあり、他のプロジェクトチームや市などと対策を練っています。また、外来の生物が持ち込まれ繁殖すると、在来種の存続を脅かすため、定期的な調査や監視により侵入を防止しています。

市民リポーターも魅力発見

自然の奥深さに感動 室田陽子さん（46・戸室）



オープン当初に比べ、草木が成長し様変わりした公園の様子に驚きました。クラブの皆さんの解説で、これまでは見えなかったものや、聞こえなかった音など、発見の連続でした。特に、お子さんのいる方にはお薦めです。自然観察会は毎月第3土曜日に開催されているので、私も次回は子どもと一緒に参加したいと思います。

意味ではない。より良い環境にするには、絶えず手を入れることが必要」と話す青砥さん。今後は、園内にある森も間伐などの整備を進めていく予定です。「多様な生物が共存できる厚木の魅力を後世に伝えたい」。その思いを胸に、青砥さんたちは公園の守り人として、その行く末を見守っていきます。



見つけた自然や生物の特徴を解説する青砥さん（左）

第1回

あつぎこどもの森フェスタ

同時開催 荻野運動公園オータムフェスタ2016



秋の自然やアウトドア体験を楽しむイベントを開催します。

日時 11月6日①
10時～15時

会場 あつぎこどもの森公園
(中荻野916-2)
荻野運動公園
(中荻野1500)

内容 あつぎこどもの森公園…自然観察会、クラフト工作、畑作り、焼きイモ体験、スタンプラリーなど（一部有料）
荻野運動公園…チェーンソーアート（観覧=12時～、無料。体験=13時～、定員30人。無料。②当日直接会場へ。先着順）

☎荻野運動公園 ☎225-2900



南口を個性豊かな街に

厚木みなみ飲食店部会

イベントやグルメ、芸術、音楽などで厚木を盛り上げようとする人たちが、市内にはたくさんいます。本厚木駅南口周辺に新たな魅力を生み出そうと結成された「厚木みなみ飲食店部会（AMI）」では、飲食店同士が手を結び、個人店の持ち味を生かした特色あるまちづくりに取り組んでいます。



月1回開催される会議では活発に意見が飛び交う（右から3番目为本田さん）

本厚木駅は昭和19年、市の玄関口として誕生しました。現在の一日当たりの乗降人数は約15万人と、他路線との接続がない私鉄の駅では日本一を誇ります。駅の北口は大型商業施設や商店が立ち並ぶ繁華街。一方南口は個人経営店が点在する住宅街という印象があります。こうした中、「食」で南口を盛り上げようと、地元商店会に加盟している飲食店の店主たちによって、AMIは平成27年4月に発足しました。

飲食店同士つながった思い

「南口には、独特な店構えやメニューにこだわりを持つ個性豊かな店がたくさんある。こうした店同士がつながりを持てば、何か新しいことができるはず。」



南口周辺の散策に便利なマップ



個性的な店舗が集まる南口

「と話すのは、旭町でそば屋を経営する本田昌宏（38）さん。以前から、各店舗のお客さんを地域全体で共有できれば、街全体の活性化につながると感じていました。「誰かが動かないと、街は変わらない」。本田さんは、南口で飲食店を営む店主たちとその思いを伝えました。本田さんの呼び掛けに、ラーメン店やイタリアンレストラン、喫茶店などを営む10店舗の店主たちが賛同。「みんなが南口を盛り上げたい」という共通の思いが、これまでつながりできなかった飲食店同士を結びつけました。

合言葉は厚木オイシイ南の輪

AMIの発足以降、メンバーは「どうすればにぎわいを生み出せるか」をテーマに、毎月1回話し合いを実施。一つの店舗だけが繁盛するのではなく、南口全体の活性化につながるため、「厚木オイシイ南の輪」を合言葉に地域を盛り上げる企画を議論してきました。

最初に取り組んだのは、他の店舗のショップカードをそれぞれの店に置くこと。店同士がお互いの店を紹介することで、お客さんを共有する狙いです。27年11月には、地元商工会議所が主催する南口ホコ天まつり（右欄参照）に屋台を初出店。手塩に掛けて作った料理は、すぐに売り切れてしまうほどの人気を得ました。今年も開催に向けメンバーたちは「たくさんの人においしい料理を食べてもらって、地域のにぎわいに貢献したい」と意気込んでいます。

第3回 南口もにぎわい爆発！ 南口ホコ天まつり

あつぎ国際大道芸の初日、南口でも楽しいイベントが盛りだくさん。ぜひお越しください。

日時 11月12日 10時～15時
場所 本厚木駅南口周辺
内容 南口飲食店・商店などによる飲食の販売、新鮮野菜の直売、大道芸など

厚木商工会議所 ☎221-2153

将来を見据えたにぎわいを

「南口は吉祥寺や自由が丘のような、にぎわいつつも落ち着いた雰囲気のある大人の街にしていきたい」。AMIの会議では、南口が目指す将来の姿を見据え、活発な話し合いが続けられています。

市民リポーターも魅力発見

AMIの活動に注目 津島武志さん（71・恩名）



生まれも育ちも商売も旭町という本田さん。地元のことをよく考え、熱心に活動に取り組む姿から、地元への愛情を強く感じました。南口では、平成31年の完成に向けた再開発事業が本格的に始まります。AMIの活動を含めて、これからますます注目される南口。さらなる発展に向けた活躍を期待します。

「どこに行っても、同じような店構えに同じような店舗ではつまらない」と話す本田さんが、一過性ではない街のにぎわいを生み出すはず」と力を込めます。南口を個性豊かな街にしようと、積極的な活動を展開するAMI。新しい魅力を生み出し、活気とにぎわいを市全体へ発信していきます。



子どもうれしい遊び場と温かい人たち

國分姫乃さん (46・主婦・まつかげ台)

「アミューあつぎ」にある子育て支援センターは日曜も開いているし、屋内広場solaは安心して子どもを遊ばせられるので、子育て世帯にはうれしい施設です。引越してきたばかりで、友達ができるか不安がっていた娘も、ここではみんな一緒に遊んでくれて喜んでます。誰でも温かく迎えてくれるまちの人たちの人柄もすてきだなと感じています。



都市と自然が融合した風土

スコット・ピアースさん (53・あつぎホストタウン交流大使)

都心へは電車一本で出られるし、圏央道をはじめとした交通網にも恵まれていて、観光もしやすいので、外国人の観光客にはありがたいですね。でもそれだけではなく、温泉やゴルフ場、豊かな自然もある、田舎らしいのどかな風土も兼ね備えていて、住むにも最高なまちですよ。



ぬるぬるしたお湯が美肌の秘訣

長谷川夏志さん (24・団体職員・元町)

七沢・飯山では温泉が有名ですが、そのお湯の効能はご存知ですか。強アルカリ性の泉質で、普通のお湯よりぬるぬるしています。肌をすべすべにしてくれますよ。秋から冬にかけては、温泉宿などで提供している郷土料理「猪鍋」が旬。低カロリー・低脂肪でコラーゲンもたっぷり。温泉と併せて美人になること間違いなしですよ。



のんびり過ごせる隠れ家的カフェ

仲山直美さん (49・飲食店・上荻野)

私の職場の近くにあるカフェがお気に入りです。駅の近くにありながらも、静かにのんびり過ごせます。十数年前に開店した当初からのファンで、店長がこだわりをもって入れてくれるコーヒーはとて芳醇な香り。特に一から手作りされているガトーショコラがおすすめです。ランチはもちろん、ディナーの料理もおいしいですよ。



地産地消で造られる品ぞろえ豊かな酒

望月喜代志さん (72・酒屋店主・旭町)

市内には、ビールや日本酒など、地酒を製造する酒造会社3軒もあり、全国的に見ても珍しいまちです。厚木の地酒には、地元で収穫された米や丹沢山系の豊かな水が使われています。特におすすめなのは、季節ごとに製造される日本酒「しほりたて」や蒸留した酒粕を使った焼酎です。



関東に2店舗しかないてんぷら屋さん

杉山絵莉香さん (19・湘北短期大学1年・戸室)

妻田の国道246号線沿いにあるてんぷら屋さんがお薦めです。関東には川崎と厚木の2店舗しかなく、カウンターで揚げたてを出してもらえらる福岡式。定番のメニューだけでなく、バウムクーヘンやアイスなど、変わり種のもので食べられて、とてもおいしいですよ。



あつぎの魅力

自然、温泉、食一。私たちが住む厚木には魅力がいっぱい。でも、まちには知らない魅力がまだまだあふれていそうです。「これってすてきな、みんなに伝えたい」。そんな身近にあるとおきの厚木の魅力を、まちの人に聞いてみました。

図広報戦略課 ☎225-2040

ねえ、これ知ってる？

みんなに伝えたい



人とつながりを大事にする映画館

池田正さん (78・元教員・王子)

厚木唯一の映画館は、スタッフと気さくに談笑できるアットホームな雰囲気です。超大作だけでなく、他の映画館では見られないものまで多彩なラインアップがそろいます。来場者が自由に書き込めるノートから上映作品を選んだり、監督や出演者と交流ができる催しがあったりと、何度も訪れたいです。



豊富な体験講座で交流の輪が広がる

上市美和さん (42・主婦・愛名)

市内の公園や公民館で開催される、体験講座がとって充実しています。人とのつながりを持つ機会がたくさんあるので、いつも「広報あつぎ」や「公民館だより」、マイタウンクラブで情報をチェックしています。野外彫刻造形展の石彫アートもその一つで、子どもと一緒に楽しめるのがとてもうれしいです。



あつぎ 元気Wave ケーブルTV11/16~ まちの魅力づくりや発信に携わる人々を紹介

「発信」と「共感」でまちづくりの主力に

河井孝仁さん (58)

まちは市民の力でつくられるものなので、一人一人が「こんなまちにしたい」という思いを持って、行政を動かすことが理想です。そのために必要なのは、皆さんがその思いを「発信」すること。発信が周りから「共感」を得ることで、まちづくりへの当事者意識が芽生えていきます。フェイスブックは他者からの認識や共感を得やすいので、発信者になるきっかけとして、優れたツールとなるでしょう。発信は、体温を感じ取る投稿となるよう「行って見た」「やってみた」「食べてみた」などの実体験を取り入れると、より効果的です。また発信に対して、共感することもとても大切。共感し合ったり褒め合ったりすることで、自分以外にもまちへの思いを持った人がいることや、まちが人でできていることを実感し、互いにまちづくりへのやりがいにつながります。うまく活用することで、まちづくりのための顔の見える関係も築けるでしょう。そのようにして、地域(まち)に真剣(マジ)になる人を増やすことが、厚木の発展に必要なのではないのでしょうか。



自治体PR動画「トカイナカあつぎ」

11月中旬公開

市と東京工芸大学の学生が協同で作成した自治体PR動画「トカイナカあつぎ」が、市ホームページなどでご覧いただけます。



農家や温泉、公園など、普段は足を運ばない所に向き、今まで知らなかった厚木の魅力に触れることができました。中でも、養豚や夢末市の食材など、食の充実度に驚きました。出会った市民の皆さんも温かく、元気あるまちであることを実感しました。

東京工芸大学4年 橋本大宜さん (23・東京都)

放映場所 市ホームページ 本厚木駅北口駅前「あつぎビジョン」 図広報戦略課 ☎225-2040

「古事記」にも掲載される伝説の地

寺田敏さん (77・あつぎ観光ボランティア協会副会長・毛利台)

小野神社と小町神社は、知る人ぞ知るロマンのある場所です。小野神社にはヤマトタケルノミコト、小町神社には源頼朝の側室丹後の局にまつわる伝説があります。春には近くを流れる玉川沿いに桜が咲き誇り、地域の催し「小野小町まつり」では「小町娘」が姿を見せると、歴史と美しい風景が楽しめますよ。



あつぎのいいとコロ 教えてください あつぎの魅力大募集

あなたが知ってる

募集開始日 11月1日~

投稿方法

- ①市観光協会のフェイスブックページ「あつぎのいいとコロ」に参加する
- ②あなたがみんなにお薦めしたい厚木の魅力を投稿

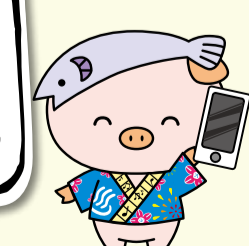
◆フェイスブックを利用できない方は、市観光協会で配布している投稿用紙(ホームページからもダウンロード可)に記入し、直接またはファクス、Eメールで市観光協会 ☎240-1224・✉info@atsugi-kankou.jpに提出してください。市観光協会が投稿します。

詳しくは フェイスブック 厚木市観光協会 検索 あつぎのいいとコロ 検索

図(一社)市観光協会 ☎240-1220



フェイスブックに投稿された記事は、市観光協会ホームページにも随時掲載するBoo~!! フェイスブックに登録していない方も、ぜひ見てね。





記者会見で充実した返礼品をPR

厚木の魅力を生かして財源確保 ふるさと納税をリニューアル

市は、「あつぎ元気応援寄附金」として平成25年から実施してきた「ふるさと納税制度」を大幅にリニューアルしました。自主財源の確保に向け、市内の魅力ある特産品や企業製品、宿泊券といった返礼品を充実させ、全国へ向けてPRしていきます。

ふるさと納税制度は、近年全国的に利用者が急増し、返礼品などの充実による都市間競争が激しさを増しています。市では、寄付を受け付ける額よりも他市町村への寄付による税控除額が上回り、収支がマイナスとなっているため、制度を一新し新たな財源確保を目指します。

「返礼品を16品目から140品目へ」

リニューアルに当たっては、温泉などの観光資源や魅力ある物産、市内企業の優れた製品など、厚木市が持つ強みに着目しました。市内の事業者や農家の皆さんの協力を得て、返礼品を従来の16品目から大幅に拡大。ハイビジョンテレビやデジタルカメラ、家具、ホテル・温泉の宿泊券、地ビール、地酒、土産品、地場産の米、農畜産物など、魅力ある商品を

140品目ラインアップしました。返礼品は、5000円から75万円以上の高額寄付まで、金額に応じて多彩に設定。今後も、新規商品の追加や季節限定商品を充実させ、本年度中に3000万円の寄付獲得を目指します。

「24時間、365日の受け付けが可能に」

より手軽に手続きができるよう、専用サイト「ふるさとチョイス」と「わが街ふるさと納税」の活用を始めました。これにより24時間、365日、いつでも何回でも寄付ができるようになります。支払方法も多様化し、納付書払いや口座振込、現金書留、

「厚木の魅力を全国へ発信」

市観光協会事務局長の土井照夫さん(66)は「返礼品を見た全国の人が厚木に魅力を感じてくれれば、温泉利用者の増加や物産の販売促進など、観光や地域経済の活性化にもつながる」と

とリニューアルに期待を寄せます。市では、自主財源の強化に向け、多彩なメディアを使った広報活動を展開。魅力ある製品や物産を全国へ発信していきます。
◎財政課 ☎25-2170

ひとまち 元気



大活躍の田中広輔選手

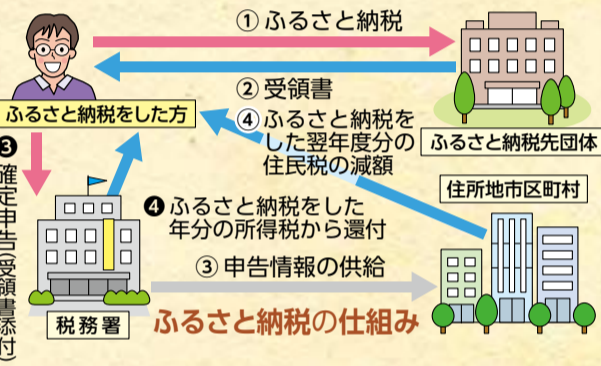
市長 小林 崇良

プロ野球・中日の多村仁志選手が、現役引退を表明しました。多村選手は、小鮎中の出身です。平成6年に横浜へ入団し、16年には打率3割・40本塁打を達成。18年の世界大会で日本を世界王者に導いたことから、市民功労表彰をお贈りしています。常に

けがと戦った厳しいプロ生活でしたが、多村選手が架ける特大のアーチは市民の誇りでした。本当にお疲れさまでした。
野球といえば、25年ぶりにセ・リーグを制した広島の中広輔選手が頑張っています。依知中出身の田中選手は、1番・遊撃手として全試合にフル出場し、チームの快進撃を支えました。さらに、「希望郷いわて国体」では、日立オートモティブシステムズ厚木事業所が軟式野球・成年男子で優勝。決勝は6回まで無安打でしたが、仲間を信じる気持ちで栄冠につながる集中打を生み出しました。
全員に共通しているのは、夢を信じ、努力を積み重ねていること。私にも「元気なあつぎ」をつくるという夢があります。皆さんに負けたくない強い気持ちを持って、夢に挑み続けます。

ふるさと納税とは

新たに税を納めるものではなく、自分が貢献したいと思う都道府県・市区町村に寄付することで、住民税と所得税から一定の控除を受けられる制度です。



ふるさと納税返礼品を多数販売

厚木市まるごとショップ
あつまる



《販売品》
地酒・地ビール、
あゆこちゃんグッズ、どん
漬、厚木シロココ・ホルモン、
ソーセージ、お土産品、新鮮
野菜、友好都市物産など
《場所》アミューあつぎ地下1階
《営業時間》10時～19時
☎あつまる ☎240-1213

地方創生推進プロジェクトの挑戦 厚木の新たな魅力を創造

人口減少に歯止めをかけ、まちの活力を生み出す地方創生に向けた取り組みが全国各地で進められています。近い将来、人口減少が見込まれる厚木市でも、地方創生推進プロジェクトを設置し、活動を本格化させています。ここでは、プロジェクトが進める、新たな魅力づくりへの取り組みを紹介します。



凱旋ライブの特設ステージでは飯山白龍太鼓を披露



いきものがかりと厚木の関わりを振り返る展示

最初に取り組んだのは、厚木市にゆかりのある音楽グループ「いきものがかり」の凱旋ライブに合わせた企画です。ライブには、全国各地から5万人が来訪するため、厚木の魅力を発信する絶好の機会。開催前からフラッグやポスターなどを本厚木駅周辺に掲げたほか、地下道では、彼ら

いきものがかりのライブを機に

を紹介した「広報あつぎ」を展示し、歓迎ムードを高めました。ライブ当日には、市内の飲食店を紹介するマップを来場者に配布。会場の荻野運動公園に設置されたグルメコーナーでは、厚木シロコロ・ホルモンや鮎の塩焼きといった厚木ならではのグルメで来場者の舌を楽せました。

「厚木はグルメ、自然、温泉がとつても魅力的。特に女性はどれも大好き」と力を込めるのは、メンバーの一人、湘北短期大学2年の藤方日菜子さん（20・茅ヶ崎市）。定住促進につながるためにも、まずは厚木を訪れ、そうした魅力に触れてもらおうと「女子旅」モデルルートづくりを立案しました。対象を絞った情報発信が効果的と考え、女性がよく見る雑誌やウェブサイトなどでのPRを進めています。

また、厚木市は企業と大学が多いまち。その強みを生かし、産学公が連携した新たな魅力づくりにも取り組んでいます。「厚木で住み続けたい・働きたい」という子どもたちを増やすことを目指した会社・工場見学ツアーや、吹奏楽愛好者が一堂に

の観光資源を生かして出合いの場をつくる、婚活ツアーを開催予定です。魅力と活力あふれるまちづくりに取り組むプロジェクトの活動。これからの事業展開に、どうぞご期待ください。

企画政策課 ☎2512450



昨年も実施し好評を得たプラス・ジャンボリー®

プロジェクトは、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（下欄参照）に掲げる、20歳代の定住促進・転出抑制と合計特殊出生率（※）の上昇に取り組むために設置されました。活動の柱は二つ。結婚を望む人への出会い・交流の場の創出と、若者が「住みたい、働きたい、訪れたい」と思えるまちの魅力の創造・発信です。メンバーは、市内の企業や団体、大学、行政から集まった若い世代37人で構成。それぞれの立場から厚木の魅力とその活用方法について議論を重ね、事業を展開していきます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口ビジョンで定める目標人口の実現に向けた取り組みを規定。数値目標や基本目標、具体的な施策を盛り込んでいます。

	※現状値	▶ 目標値
【合計特殊出生率】	1.28	▶ 1.42 (平成32年)
【定住促進】	20歳代の転出超過数 187人	▶ 90人 (平成31年)
【雇用の創出】	事業所数 9994事業所	▶ 1万500事業所 (平成31年)
	就業者数 15万242人	▶ 15万7800人 (平成31年)

魅力づくりに向け新たな展開

さらに、訪れたファンや市民の皆さんの参加型イベントも企画しました。自然や街並みなど、厚木をPRする写真を広く募集。まちの魅力を多くの人に知ってもらい、写真を素材にモザイクアートを制作することで、再び厚木を訪れるきっかけづくりに取り組んでいます（右欄参照）。

凱旋ライブを終えた
いきものがかりからの
メッセージ

いよいよ
展示開始
みんなでつくる
モザイクアート

皆さんからご応募いただいた写真素材を組み合わせて1枚の絵を作るモザイクアートを、制作・展示します。一つは幅8位の巨大なもの。もう一つは、いきものがかりのメンバーにプレゼントします。

イオン厚木店の入口付近に展示
《期間》11月25日～平成29年3月31日
《場所》本厚木駅東口地下道

厚木市のみなさまへ

「超いきものまつり2016 地元でSHOW!!」
～厚木でしょー!!!～

厚木市民の皆様の多大なるご支援・ご協力を頂き、本当にありがとうございました。今後ともいきものがかりを、何とぞよろしくお願いいたします!

タウンガイド



11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5	4	5	6	7	8	9	10
6	7	8	9	10	11	12	11	12	13	14	15	16	17
13	14	15	16	17	18	19	18	19	20	21	22	23	24
20	21	22	23	24	25	26	25	26	27	28	29	30	31
27	28	29	30										

マイタウンクラブ
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報をご覧いただけます。「①②」と記されたものは、申し込みもできます。
www.mytownclub.com

Gポイント
 ②印は、あゆこちゃんGENKIポイントの対象事業です。参加すると、数字分のポイントが付与されます。

①=申し込み ②=問い合わせ ☎=電話番号 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール

アミューあつぎに「夢未市」が特別出店

11月19日、10時～15時。アミューあつぎ。JAあつぎ農産物直売所「夢未市」が特別出店。新鮮野菜や厚木産「キヌヒカリ」の新米などの販売。☎商業にぎわい課☎225-2834。⑥1

あつぎ青春劇場

①11月19日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・宮川たかし）②11月26日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会（出演・入船亭小辰）。

いずれも会場はアミューあつぎ。定員100人。500円。☎当日直接会場へ。先着順。☎商業にぎわい課☎225-2834。⑥1

市民ふれあいマーケット

11月20日、9時～13時30分（雨天中止）。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を130店舗が販売。「第6回厚木東部ふれあい市」も同時開催（9時～15時）。☎環境政策課☎225-2749。⑥1

あつぎヒューマンライツフェスタ

12月3日、13時30分～15時30分。文化会館。中学生人権作文・ポスターの表彰式とシンガーソングライター玉城ちはるさんによる「共に生きる『共生』」がテーマの講演（手話通訳あり）。定員370人。託児あり（定員10人。11月18日までに要連絡。抽選）。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎市民協働推進課☎225-2215。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

こころのふれあいフェスタ陸合南

11月12日、13時～16時。陸合南公民館（妻田北1-18-33）。心の病についての講演、当事者による体験発表。定員100人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎ハートラインあゆみ☎259-5712。

ふれあいデー～ななさわ森のオリンピック～

11月13日、10時～15時。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。野外炊事、模擬店、ステージ発表、丸太切り、せんみ凧の絵付け、工

作、地元野菜・豚汁の無料配布など。無料（一部有料）。☎当日直接会場へ。☎七沢自然ふれあいセンター☎248-3500。⑥1

小児・乳児への応急手当 普通救命講習会

11月26日、9時～12時。消防本部。小児・乳児への心肺蘇生、大出血時の止血法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなどを学ぶ。市内在住在勤在学の中学生以上の方30人。託児あり（定員6人）。無料。☎11月10日までに救急救命課☎223-9365へ。抽選。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

斎場施設見学会

11月16日、①10時30分～②13時30分～（各回約90分）。斎場（下古沢548）。施設の見学と葬儀の説明。各回30人。無料。☎11月15日までに市斎場☎281-8595へ。先着順。⑥1

「虐待と共依存！」講演会

12月3日、10時～11時45分。アミューあつぎ。虐待の背景に潜む共依存をテーマにした講演会（要約筆記、手話通訳あり）。定員110人。無料。☎11月25日までに権利擁護支援センター☎225-2939へ。先着順。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

一般介護予防事業

- からだいきいき運動教室
 - ①Aコース＝12月12日～平成29年3月13日の月曜。10時～12時。東町スポーツセンター。
 - ②Bコース＝12月7日～平成29年3月8日の水曜。10時～12時。ぼうさいの丘公園（温水783-1）。
 - ③Cコース＝12月13日～平成29年3月14日の火曜と1月11日。10時～12時。荻野運動公園（中荻野1500）。
 - ④Dコース＝12月12日～平成29年3月13日の月曜。14時～16時。東町スポーツセンター。
- 脳とからだのいきいき運動教室
 - ⑤12月15日～平成29年3月16日の木曜。13時30分～15時30分。厚木YMCA（中町4-16-19）。認知症予防プログラムを取り入れた運動。
- 物忘れ予防・脳いきいき教室～室内編～
 - ⑥12月7日～平成29年3月8日の水曜。14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。ストレッチなど簡単な

運動を取り入れた認知症予防教室。いずれも全12回（年末年始を除く）。対象は市内在住で65歳以上の方①～④30人⑤⑥25人（要介護認定者は要相談）。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室・コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、11月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

あつぎスポーツアカデミー 第3回アスリートテスト

12月9日、17時～19時。南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。瞬発力やバランス感覚などの運動能力を測定。市内在住在学の小学3～6年生60人。無料。☎ハガキまたはファクス、Eメールに講座名、〒住所、氏名（ふりがな）、電話番号、身長、体重、生年月日を書き、11月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1体育協会☎247-7212・☎248-7151・✉info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。

ボクシングエクササイズ教室

12月5・12・19日（全3回）、19時～20時30分。東町スポーツセンター。ボクシングを取り入れた運動。市内在住在勤在学で小学生以上の方20人。1000円。☎ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、11月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・☎248-7151へ。抽選。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

今日からできる！カンタン健康術

11月25日、14時～15時30分。厚木北公民館（元町9-4）。健康運動指導士と管理栄養士による、日常に取り入れられる体操と栄養バランスの講座。骨健康度測定も実施。市内在住で40～64歳の方30人。無料。☎11月4日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。⑥10

本当は怖い「睡眠時無呼吸症候群」

12月16日、14時～15時30分。あつ

市内で働く若者を紹介 熱気人



地域に愛されるカメラマンに

地域情報番組カメラマン 肥後 直樹さん(28)

市内にあるケーブルテレビ局で、地域情報番組を制作しています。ネタ探しから取材、原稿作成、映像の編集など、番組作りの全てを担っています。機材の知識はもちろん、映像や音の作り方、テレビ向きの言葉遣いなど、どれもが時代と共に変わっていくため、日々の勉強が欠かせません。

番組は、市内の約4万5千世帯で放送されるので、緊張感と責任感を持って制作に臨んでいます。その分、「番組を見たよ」などと声を掛けられるとやりがいを感じます。大きいイベントを取り上げるのは当たり前ですが、小さくても温かいまちの話題を伝えることで、視聴者の皆さんに地域への愛着や関心を深めてもらえればうれしいです。厚木は、自然と人の温かさがあふれている大好きなまちです。このまちで愛される番組を作れるようになるために、まずは地域に愛されるカメラマンを目指して頑張ります。

田中理恵先生の親子ふれあい体操教室

～笑顔でからだを動かそう～

協定を結ぶ日本体育大学と **無料** 連携し、体操教室を開催します。

《日時》12月18日 13時～15時

《会場》東町スポーツセンター

《内容》①体操教室②質問コーナー③観覧

《対象》市内在住在学の①小学1・2年生と保護者40組②小学3年生～中学3年生100人③420人

☎往復ハガキに希望内容、〒住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年、保護者氏名、田中先生への質問を書き、11月18日（必着）までに〒243-8511スポーツ政策課へ。抽選。応募は1人1枚。詳しくは学校や公民館などで配布しているチラシや市ホームページをご覧ください。

☎スポーツ政策課☎225-2531 ⑥1



《プロフィール》昭和62年生まれ。ロンドン五輪出場。現在、日本体育大学児童スポーツ教育学部助教。

ぎ市民交流プラザ。日本睡眠学会認定医による、睡眠時無呼吸症候群についての講座。市内在住の方80人。無料。☎11月4日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。㊿10

リサイクル施設見学会

12月6日、9時～17時。紙類の分別をクイズで学び、道の駅「富士川楽座」と王子マテリア(株)富士工場を見学。市内在住の18歳以上の方25人。無料。☎11月15日までに環境政策課☎225-2749へ。抽選。㊿162519 ㊿1

安心・安全なまちづくり研修会

11月21日、13時30分～15時。文化会館。厚木警察署管内の犯罪などをテーマにした講演。定員382人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎セーフコミュニティくらし安全課☎225-2148。㊿1

ひよこコミュニティ保育「子育て講座」

11月21日、10時30分～11時30分。あつぎ市民交流プラザ。親子でわらべ歌に親しむ。未就園児の親子12組。無料。☎電話でひよこコミュニティ保育☎242-0000へ。先着順。

保健師・管理栄養士の嘱託員を募集

《内容》保健指導、健康相談・教育などの成人保健業務《対象》保健師、管理栄養士のいずれかの資格がある方《時間》原則平日9時～13時または13時～17時（月数日）《場所》保健センターなど《給与》日額保健師7300円、栄養士6000円《期間》12月1日～平成29年3月31日（更新あり）。☎事前に電話連絡の上、履歴書と資格証写しを11月18日までに郵送で〒243-8511健康づくり課☎225-2201へ。面接あり。

女性のための教育・訓練賞の募集

雇用・生活条件の向上のため、技術訓練や教育を受ける女性に賞を授与します。《応募資格》①自分や家族のために経済的負担を抱えている②専門知識や技術を得るために職業訓練校・大学課程（大学院を除く）に在籍中または入学許可を得てい

る③経済的援助が必要—の全てを満たす女性。☎11月15日までに国際ソロプチミスト厚木・庄司☎090-9305-4459へ。

年末調整などに関する説明会

11月16日、13時30分～16時。文化会館。①年末調整や法定調書②給与支払報告書の作成など。事業所や事業主の方。無料。☎当日直接会場へ。☎①厚木税務署☎221-3261②市民税課☎225-2011。

歯と歯ぐきの健康相談

11月14日、9時～11時30分。保健センター。歯科衛生士による歯磨き・口腔の相談。無料。☎当日直接会場へ。☎健康づくり課☎225-2201。㊿10

ひとり親家庭などの医療費助成

ひとり親家庭（父母が離婚、父または母が死亡・重度の障がいの状態にある家庭）などの方を対象に、医療費の自己負担額を助成しています。助成を受けるには、医療証交付申請が必要です。助成を受けている方は、11月30日までに現況届を提出してください（児童扶養手当の現況届を提出している方は不要）。☎こども家庭課☎225-2241。

木造住宅の無料耐震診断・耐震工事費の助成と分譲マンション耐震化の助成

■木造住宅の無料耐震診断・耐震工事《対象》①昭和56年以前に完成②用途が専用住宅または兼用住宅③地上2階建て以下の在来軸組工法—の全てを満たす木造建築物。

分譲マンションへの耐震アドバイザー派遣と予備診断の助成

《対象》昭和56年以前に完成した分譲マンション（要件あり）。いずれも助成額などについては、お問い合わせください。☎建築指導課☎225-2431。

11月は不法投棄撲滅強化月間

不法投棄は美観を損ねるだけでなく、環境汚染にもつながります。「不法投棄をしない！させない！ゆるさない！」をスローガンに、投棄物の早期発見を心掛け、撲滅

あつぎ 元気Wave 11月の広報番組 **ガイド**

ケーブルテレビ 11月1日～15日 ◆地産地消の厚木ご飯
あゆチャンネル(11ch) 厚木産の秋の味覚を使ったレシピを紹介

放送時間(15分) ①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 **あつぎ元気 Wave** 検索 CATV放送開始後に配信

を目指しましょう。☎環境事業課☎225-2780。

11月は子ども・若者育成支援強調月間

「心のふれあいと夢を育む青少年～家庭・学校・地域の連携で～」をテーマに、青少年の健全育成に努めましょう。☎青少年課☎225-2580。

11月は児童虐待防止推進月間

虐待は、子どもの心と体に深い傷を残し、健やかな成長に重大な影響を与えます。虐待を防ぐには、早期の発見・対応が重要です。発見したときは迷わず通告しましょう。☎平日＝家庭相談課☎225-2244、県厚木児童相談所☎224-1111。土・日曜、祝日、夜間＝全国児童相談所共通ダイヤル☎189。

女性の人権ホットライン強化週間

パートナーからの暴力などの相談を受け付ける「女性の人権ホットライン」の強化週間として、相談ダイヤルの開設時間を延長します。相談は無料で、人権擁護委員または法務局職員が対応します。《相談ダイヤル》☎0570-070-810《開設日時》11月14日～20日、8時30分～19時（土・日曜は10時～17時）。☎横浜地方法務局人権擁護課☎045-641-7926。

秋の火災予防運動

11月9日～15日に「消しましょー その火その時 その場所で」をスローガンに秋の火災予防運動を実施します。《啓発活動》消防署、消防団が消防車による巡回や立入検査などを実施《サイレン吹鳴試験》11月9日、7時～。火災とお間違えのないようご注意ください。☎予防課☎223-9371。

第9回議会報告会 議会と市民の意見交換会

①11月18日、19時～20時30分。荻野運動公園（中荻野1500）②11月19日、18時～19時30分。あつぎ市民交流プラザ。平成27年度決算（9月定例会議）の審議概要の報告や意見交換など。定員①100人②80人。☎当日直接会場へ。☎議会総務課☎225-2701。㊿1

みんなの声で 作る まち

《パブリックコメント》

■雨水浸透施設設置基準の一部改正《閲覧期間》11月1日～12月1日。☎〒243-8511下水道総務課☎225-2362・☎222-8749・✉5200@city.atsugi.kanagawa.jp

■空家等対策計画《閲覧期間》11月1日～12月1日。☎〒243-8511住宅課☎225-2330・☎224-0621・✉5550@city.atsugi.kanagawa.jp

いずれも閲覧場所は各課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページなど。応募資格は、市内在住に勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募方法は、閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

あつぎ健康相談ダイヤル24
健康相談・医療機関情報（救急含む）
さわやか1番 よいところ
☎0120-31-4156
◎発信者番号は通知設定でおかけください

第1回 もみじまつり！ 2016

色鮮やかな紅葉の下、郷土芸能や大道芸のステージ、バターゴルフなどを楽しめるイベントを初開催します。ぜひお越しください。

日時 11月19・20日 10時～15時

会場 あつぎつつじの丘公園（森の里青山19ほか）多目的広場

内容 野点、どんぐりパチンコ、バターゴルフ、和太鼓・相模里神楽壇澤社中・フラダンス・演舞・伊勢十二座獅子舞・大道芸のステージなど

《アクセス》厚木バスセンター9番乗り場、または愛甲石田駅3・4番乗り場から「森の里」行きバス乗車。「森の里5丁目」で下車し徒歩5分。駐車場あり。

☎環境みどり公社☎225-2774 ㊿1

インターネットモニターからの意見を紹介

ホットメール
Hot E Mail

10月1日号「広報あつぎ」を読んで ◆いきものがかりのふるさとへの熱い思いが伝わってきた。いつか再来してほしい／50代男性・栄町 ◆契約トラブルについて、年を取ると即座に判断する能力が衰えてきて、電話口で早口にまくしたてられると思わず承諾してしまいそうになるので気を付けたい／70代以上女性・鳶尾 ◆ハザードマップの見方や子連れの避難のポイントなども紹介してほしい／30代女性・林 ◆世界を目指す若きアスリートたちがいることを知り、厚木に住んでいることへの誇りを感じた。続編を期待したい／70代男性・恩名 ◆厚木は自然豊かなので、「野外彫刻造形展」などで身近に芸術の秋を満喫できて良い／50代女性・王子

厚木市 インターネットモニター結果 検索

編集後記

今号では、皆さんから厚木の魅力的なイベント、風景、お店、制度など、たくさんの情報を教えていただきました。私も約30年、厚木で暮らしていますが、知らないことばかりで驚くとともに、教えてくださる時の皆さんの生き生きとした表情に、厚木への愛着を感じました。

新しいフェイスブックでは、そんな皆さんのとっておき情報を大募集中です。普段の生活がもっと楽しく充実して、まちに笑顔が増えるように、私も市民の一人として一緒に盛り上げていきたいです。（山崎）

厚木市の人口 (10月1日現在)

●人口 22万5330人
(男11万6404人、女10万8926人)
—前月比70人減—

●65歳以上=5万3120人
(男2万4812人、女2万8308人)

●外国人市民=6175人
(男3090人、女3085人)

※65歳以上と外国人市民は、住民基本台帳による

●世帯数 9万6907世帯
—前月比37世帯減—



医療機能が100%稼働 市立病院の第2期工事が完成

新・市立病院の第2期工事がこのほど完成し、11月7日にオープンします。昨年完成した救急手術棟と外科系病棟を合わせ、全ての医療機能が稼働します。新たに完成した外来・診療・内科系病棟には、総合案内や外来診療部門などを集約。いっそう利用しやすく生まれ変わりました。



山本裕康院長

地域医療を担う病院に

新病院には、超高齢化社会を見据えた救急医療・急性期医療に適応した機能を備えました。地域医療の中心を担う基幹病院として、市民の皆さんの期待に応えてまいります。

あとは駐車場を整備して、来春に完全オープンだ Boo~!!



お知らせ・・・11月4日は、オープン準備のため一般外来診療を休診します。

関市立病院 ☎221-1570(代表)

北	1期	2期	1期	南
		病棟	病棟	6階
		病棟	病棟	5階
ICU・CCU 心臓カテーテル室		病棟 HCU・感染症病棟	病棟	4階
手術部門		病棟	病棟	3階
血液浄化センター 中央検査室		外来診療 臨床検査科	管理部門	2階
救急センター 放射線部門		総合案内・外来診療 患者支援センター	レストラン コンビニエンスストア	1階
放射線部門		放射線部門 外来治療室	エネルギーセンター	B1階
救急手術棟		外来・診療・内科系病棟	外科系病棟	

この面白さ、人に言わずにいられません??

あつぎ国際大道芸2016

11月12日(土)・13日(日) 11時~18時

同時開催イベント

- ◆あつぎグルメフェア 10時30分~18時 厚木公園
- ◆まち元気物産フェア 10時30分~16時30分 厚木中央公園
- ◆第35回あつぎ技能祭 10時30分~16時30分 厚木中央公園
- ◆厚木商工会議所女性会バザー&バナナのたたき売り 10時30分~16時30分 厚木中央公園
- ◆南口ホコ天まつり(12日のみ) 10時~15時 本厚木駅南口(詳しくは5面参照)
- ◆第7回あつぎ消防団ふれあい広場(13日のみ) 10時30分~16時 市役所西側駐車場
- ◆スーパーキッズランド 10時30分~16時 サンパーク

一流のアーティストたちが本厚木駅周辺に集結。驚きや笑いあふれるパフォーマンスを披露し、街中を不思議な世界に包みます。この面白さ、ぜひその身で体験してみてください。

関商業にぎわい課 ☎225-2840

公式ガイドブック発売中!

市内書店・コンビニでお求めいただけます。
・定価100円
・お得なクーポン券付き



物産エリア
まち元気物産フェア

飲食エリア
あつぎグルメフェア

キッズエリア
スーパーキッズランド

★大道芸演技ポイント
①インフォメーション
★フェースペイント
あゆこちゃんグッズ販売場所
♡似顔絵コーナー

詳しくは
あつぎ国際大道芸 検索

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1804へ。